

公益財団法人鹿児島県環境保全協会 令和2年度
事業報告

1 法定検査事業（公益目的事業1）

(1) 法定検査事業

1) 法定検査の推進

- ① 令和2年度の検査計画基数を7条検査は6,000基、11条検査は145,000基とし、受検率を54%程度に設定する。
- ② 検査基数の増及び職員の退職等による検査員補充のため検査員を2名養成し、採水員を5名程度採用する。
- ③ 効率化検査（基本検査+採水員検査）の完全実施に向けて、浄化槽管理台帳の整備・更新を行うとともに、保守点検業者及び行政との浄化槽情報共有システムの構築やシステム管理の業務にあたらせるため情報処理技術者を1名採用する。
- ④ 住民に対して、効率化検査について周知・徹底化を図る。
- ⑤ 法定検査の結果、不具合が認められる浄化槽（保守点検業者に情報提供を行う対応レベル0）については、改善の方法等の調査研究を引き続き行い、改善の精度を高める。
- ⑥ 法定検査の信頼性を向上させるための精度管理の徹底化を図る。

【結果報告】

- ① 法定検査の実施基数は、7条検査（使用開始検査）が6,400基（実施率106.7%）、11条検査（定期検査）が118,247基（実施率81.5%）となった。受検率は、7条検査が99.9%（令和元年度99.9%）、11条検査が42.2%（令和元年度34.3%）となった。

	検査計画予定基数	検査実施基数	実施率
7条検査	6,000基	6,400基	106.7%
11条検査	145,000基	118,247基	81.5%

- ② 検査基数の増及び検査員の退職や休職等に対応するため検査員1名、検査補助員4名、嘱託採水員1名を採用して増員を図った。

(参考)

(1) 11条検査の検査種別実施状況

検査種別	検査計画予定基数	検査実施基数	実施率
11人槽以上	20,927基	19,495基	93.2%
10人槽以下	基本検査	68,241基	96.4%
	採水員検査	55,832基	56.0%

(2) 11条検査対象浄化槽の計画状況

検査計画基数		1 2 2, 3 6 8 基
検査実施基数		1 1 8, 2 4 7 基
検査未実施基数		4, 1 2 1 基
未実施の 主な理由	・使用休止等	1, 6 8 2 基
	・検査の延期	1, 3 5 8 基
	・廃止等	4 4 6 基
	・宛先不明等	3 5 1 基
	・検査拒否	2 8 4 基

③ 効率化検査（基本検査＋採水員検査）を計画的に実施するため、保守点検業者の協力を得ながら浄化槽台帳の整備・更新を行った。なお、約6,000基が未突合であり、引き続き突合に向けて作業を進めている。

本県の浄化槽台帳に位置付けられている浄化槽情報共有システムや協会維持管理システムの保守並びに新検査システム開発のため、情報処理技術者2名（1名は退職者補充）を採用するとともに検査企画課の職員を増員して対応した。

④ 令和2年4月1日から導入された新検査制度の内容について、保守点検業者や市町村等行政関係者に対して周知・徹底を図るとともに、法定検査時に浄化槽管理者へ丁寧に説明し、不在宅へも検査後に電話対応するなど、新検査制度について理解が得られるよう努めた。

⑤ 効率化検査の目的が、問題の認められる浄化槽の早期改善としていることから、対応レベル0の事項については、原因究明フローに基づき適切な改善方法を保守点検業者等に情報提供を行った。

⑥ 検査業務の効率化とデータ管理の精度向上を図るため、効率化検査に対応した検査結果入力システムを開発した。

2) 採水員の業界委託導入に向けた取り組み

① 第2期以降の採水員業務を保守点検業者に委託する場合の委託料等について検討を行う。

② 令和3年度以降の採水員検査計画を検討する。

【結果報告】

① 業界委託の検討を行ったが法定検査の信頼性確保について問題提起があり、当面の間は検査員と嘱託職員で採水員検査を進めることとした。

② 浄化槽効率化検査精度管理委員会を開催し、効率化検査の進捗状況報告及び不適正浄化槽に対する改善状況等の評価を行った。

3) 検査員の技術力向上

検査員の技術力の向上を図るため、研修会及び勉強会等を実施するとともに、各種講習会等に参加させる。

【結果報告】

- ① 4月1日は職員会議（研修資料のみ配布）を実施し、令和2年度の重要事項等について理解の徹底化を図った。また、8月12日に検査課毎のWeb課内会議、12月28日は検査員及び採水員を対象とした全体職員会議と検査課毎の課内会議をWebにて実施し、職員の資質向上及び新しい検査制度の判断基準などについて周知を図った。
- ② 検査員が日頃取り組んでいる改善事例については、9月7日の浄化槽維持管理技術研修会で発表することとしていたが、中止となったことから、資料としてとりまとめ保守点検業者の管理士全員へ配布した。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の影響から、全国浄化槽技術研究集会、九州地区浄化槽検査員研修会、四国地区浄化槽指定検査機関協議会主催の検査員研修会は中止された。

4) 不適正浄化槽の改善及び検査拒否者対策の推進

- ① 検査の結果「不適正」とされた浄化槽の原因究明や「所見」の明確化等に努め、迅速かつ適切に改善されるよう保守点検業者や清掃業者との連携を密に行う。
- ② 鹿児島県浄化槽指導監督要領に基づき、県や市町村に対し不適正浄化槽の原因や受検拒否理由の具体的な報告を行い、不適正浄化槽の改善や受検拒否者対策に取り組む。
- ③ 効率化検査の実施に伴い、浄化槽関係者と連携し、不具合の認められる浄化槽の早期改善及び改善方法等の構築に努める。

【結果報告】

- ① 検査の結果「不適正」とされた浄化槽の原因究明に努め、迅速かつ適切に改善されるよう関係業者とも協力して対応するとともに、法改正に伴う特定既存単独処理浄化槽に該当した211基について県へ報告を行った。
- ② 不適正浄化槽の原因や受検拒否の理由については、県に具体的に報告し、不適正浄化槽の改善や受検拒否者対策の推進に努めるとともに、県指導監督要領改正に伴う受検拒否者数435件を県へ報告し、行政指導の結果、約3割の134件が受検した。
- ③ 法定検査の結果、不具合が認められる浄化槽（対応レベル0）1,165基について、原因究明フローにより改善案を作成し、保守点検業者に情報提供を行い、このうち約7割の802基が改善された。
- ④ これまでの検査拒否者（約5,400基）を4か年で検査計画することとし、令和2年度は、拒否登録履歴の古い1,448基中、使用中と思われる863基を対象として封書で検査案内を送付した。このうち、検査実施基数199基、

再度拒否件数 38 基、延期・廃止・休止等が 200 基であり、残りについては令和 3 年度初めに検査することとしている。

5) 啓発の推進

- ① 法定検査の必要性や浄化槽の公共的機能について、市町村広報紙・回覧板やチラシ等により啓発を行うとともに、保守点検業者等と連携し維持管理の重要性等について効果的な啓発を図る。
- ② 効率化検査の制度について、浄化槽管理者等が理解できるようなパンフレット等を作成し、効果的な啓発を図る。

【結果報告】

- ① 令和 2 年度からの効率化検査導入に当たり、県が作成したチラシについて保守点検業者や市町村を通じて検査対象者へ配布するとともに、市町村広報紙等に掲載した。
- ② 協会で新たに作成したチラシを配布し、効率化検査の説明を行うとともに、要望のあった保守点検業者や市町村へもチラシを送付して啓発依頼を行った。
また、ホームページでも新しい効率化検査について啓発を図った。

市町村広報紙への掲載状況

市町村名	掲載月	市町村名	掲載月
鹿児島市	8 月、1 月	阿久根市	10 月
指宿市	6 月	長島町	5 月
枕崎市	9 月	大崎町	6 月
南さつま市	3 月	鹿屋市	7 月
南九州市	5 月	錦江町	3 月
いちき串木野市	8 月	南種子町	10 月
日置市	12 月	徳之島町	6 月
出水市	3 月	伊仙町	7 月
		合計	16 件

* 広報誌以外に旬報や回覧板へチラシの掲載あり

6) 未収金回収の徹底化

- ① 未収金について、検査員による訪問集金の徹底化を図るとともに、検査実施から 4 年経過する未収金については、弁護士事務所からの督促が有効であることから、継続して未収金の回収に努める。
- ② 検査手数料の未収金が発生しないように、口座振替勧奨を徹底する。

【結果報告】

- ① 未収金については、検査実施 3 か月後に再請求を行うとともに、6 か月経過して検査手数料が支払われていない浄化槽管理者に対しては、新型コロナウイルス

感染症の感染防止の観点から、電話による催促や要望に応じて訪問集金を実施した。

- ② 検査実施後、督促状送付訪問集金を行っても入金されず4年を経過した未収金については、弁護士に回収を委任し、回収を図った。

弁護士による回収状況

委任件数	委任金額	回収金額	回収率
480件	7,545,000円	2,151,000円	28.5%

- ③ 口座振替契約依頼のチラシ等を作成し、法定検査時の勧奨に取り組み、口座振替契約数は26,484件（検査実施基数に対する契約率27.2%）となった。

7) 将来計画の検討

効率化検査がスタートしたことから、第2期以降に向けて、業務運営の健全化を考慮した将来計画を検討する。

【結果報告】

- ① 浄化槽法の改正により、県に浄化槽台帳の整備が義務化されたことから、浄化槽情報共有システムを改修して、保守点検業者の各種届出関係の電子申請による行政の受付業務を10月から運用開始した。
- ② 効率化検査導入により検査基数が増加することから、検査業務の利便性の向上を図るため、検査システム全体の見直しを行うとともに、改善指導対象及び受検拒否者の行政への報告についても、行政指導システムを構築するなど業務改善に取り組んだ。

(2) 生活排水調査等の推進

法定検査などにより蓄積したデータを生かし、市町村等からの水質調査等の要請に対応する。

【結果報告】

市町村等に浄化槽の普及に関する助言等を行うとともに、生活排水に関する環境調査事業等を受託した。

内 容	件 数
浄化槽の保守点検の補完的水質分析	165件
市町村管理型浄化槽の普及に関する助言・指導	7件
その他	6件
総 計	178件

予算額	受託金額	実施率
16,400,000円	16,036,336円	97.8%

2 浄化槽普及啓発・適正化推進事業（公益目的事業2）

(1) 浄化槽普及啓発

1) 浄化槽の広報

- ① 行政と協力して県内各地のふるさと祭り等に浄化槽コーナーを設けて出展し、地域住民に合併処理浄化槽の役割と機能等について広報する。
- ② 県内の生活排水対策の現状を取りまとめた資料集「かごしまの生活排水対策（令和2年度版）」を作成し、本県の実生活排水対策の状況について広報する。

【結果報告】

- ① 県内各地のふるさと祭り等が、新型コロナウイルス感染症の影響から開催中止となり、出展による広報活動は実施できなかった。
- ② 県内の生活排水対策の現状や浄化槽整備に係る補助事業等を取りまとめた資料集「かごしまの生活排水対策（令和2年度版）」を県浄化槽推進市町村協議会と共同で3月に発行し、県、市町村及び浄化槽関係者に配布した。

2) 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換推進

県、市町村及び会員と協力して、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進するため、国等の補助事業等の周知を図る。

【結果報告】

例年配布している単独から合併への転換推進リーフレットについて、令和2年度は市町村ごとに補助制度の概要と協会の工事業会員の名簿を掲載したものを合計10万部作成した。

管理業会員の協力により、このリーフレットを9月から11月に単独処理浄化槽を使用している世帯に配布し、合併処理浄化槽への転換推進を図った。

また、このリーフレットの印刷用データを工事業会員にも提供し、単独処理浄化槽世帯へのPR資料として活用いただき、転換推進を図った。

3) 浄化槽市町村整備推進事業の円滑な実施の支援

- ① 国・県が浄化槽事業の最も望ましい事業として推進している「浄化槽市町村整備推進事業」について、事業を実施している市町村の事業の円滑な実施を支援するとともに、県と連携して事業導入を市町村に働きかける。
- ② 県浄化槽推進市町村協議会と連携して、県選出国會議員及び県等に対し、浄化槽関連予算の確保並びに浄化槽関係諸制度の改善等についての要望活動を行う。

【結果報告】

- ① 公共浄化槽等整備推進事業（浄化槽市町村整備推進事業から事業名変更）については、事業を実施している曾於市、龍郷町、知名町からの相談に随時対応し支援した。
- ② 県選出国會議員及び県に対し、県浄化槽推進市町村協議会と共同で、令和3年

度の浄化槽予算の確保や浄化槽の維持管理に対する助成制度の創設等について要望した。

● 県への要望

要望日 令和2年10月28日

要望者 外菌理事長、宮路市町村協議会会長（日置市長）鳥越副理事長、栗脇副理事長、山下副理事長、中菌専務理事、牧事務局長（県浄化槽推進市町村協議会常任理事）

要望先 鹿児島県知事

要望内容

- (1) 浄化槽整備事業交付金予算額の確保
- (2) 浄化槽の維持管理に対する助成制度の創設
- (3) 県所有単独処理浄化槽の積極的な合併処理浄化槽への転換
- (4) 浄化槽台帳整備の委託【新】
- (5) 無管理・検査拒否者への対策【新】
- (6) 公共浄化槽等整備推進事業に対する県補助金の拡充
- (7) 特定既存単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換の推進【新】

● 県選出国會議員への要望

要望日 令和3年1月25日（郵送）

要望内容

- (1) 浄化槽整備事業交付金予算額の確保
- (2) 浄化槽の維持管理に対する助成制度の創設

(2) 浄化槽全般の適正化の推進

1) 鹿児島県浄化槽設計・施工ガイドブック2020年版の発行

現在の「設計・施工ガイドブック」が発行から8年経過し、その間に本書が依拠としている日本建築行政会議発行の「浄化槽の設計・施工上の運用指針」の改訂版（2015年版）が発行されていることや、これまでに寄せられた関係者からの意見等を踏まえ、改訂版を発行する。

【結果報告】

「設計・施工ガイドブック」の改訂版は、前回の発行以降の変更事項や、行政・会員からの要望等を踏まえて県建築課と協議・検討を行ったが、編集作業等に時間を要し、発行は翌年度に繰り越すこととなった。

2) 技術研修会等の開催

- ① 浄化槽設備士及び浄化槽管理士等を対象とした技術研修会を支部と協力して開催し、関係業者の技術力の向上を図る。
- ② 浄化槽設備士試験受験予定者を対象とした浄化槽設備士試験準備講習会を開催

し、浄化槽設備士を養成することで、浄化槽工事の適正化の推進を図る。

- ③ 浄化槽管理士を対象とした浄化槽維持管理技術研修会を開催するとともに、保守点検業者の研修会に職員を派遣し、維持管理の技術力の向上を図る。
- ④ 鹿児島県浄化槽保守点検業者登録条例の改正により、保守点検業者に所属する浄化槽管理士は、所定の内容の講習を受講することが義務付けられることから、それに対応する講習会を県及び関係団体と連携して開催する。
- ⑤ 県浄化槽推進市町村協議会の事務局を担当するとともに、市町村の浄化槽担当者の研修会等を開催し、浄化槽整備事業の円滑な実施を支援する。

【結果報告】

- ① 支部において開催された技術研修会に職員を講師として派遣するなど、支部活動を支援し、会員の技術向上を図った。
- ② 浄化槽設備士試験の受験者を対象に、6月17日から19日の3日間、受験準備講習会を開催した。受講者は23名で、このうち18名が受験し、合格者は8名であった。
- ③ 浄化槽維持管理技術の向上を図るため、9月7日に浄化槽管理士を対象に浄化槽維持管理技術研修会を開催する予定で準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から開催を中止した。なお、発表予定の内容をまとめた資料集を管理業会員へ配布し、維持管理技術に関する最新の情報を提供した。
保守点検業者の研修会に職員を派遣し、維持管理の技術力の向上を図った。
- ④ 浄化槽法改正及び県保守点検業者登録条例改正により、令和2年度から浄化槽管理士に受講が義務付けられた浄化槽管理士研修会の実施機関として県の指定を受け、10月27日に霧島市、10月28日に鹿児島市で開催し、それぞれ119名、128名が受講した。
研修会の講師は、全国統一の研修については全国浄化槽団体連合会を通じて日本環境整備教育センターに依頼し、本県の実情に則した研修については県生活排水対策室と当協会が担当した。
- ⑤ 市町村の浄化槽整備事業の円滑な実施を支援するために、県浄化槽推進市町村協議会主催の浄化槽行政職員研修会が9月9日に開催され、37市町村等から53名が出席した。
- ⑥ 日本環境整備教育センターが主催する浄化槽管理士資格取得のための浄化槽管理士講習について、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、会員から県内での開催の要望があり、11月16日～28日（13日間）の日程で開催し、66名が受講した。

3) 浄化槽設置者の啓発

- ① 浄化槽に対する意識の啓発を図るため、浄化槽の新規設置者に対して、関係書類の保存ファイルを配布する。

- ② 浄化槽の適正な使用方法や保守点検・清掃、法定検査の重要性を周知するため「浄化槽のしおり」を作成し、浄化槽設置者に配布する。
- ③ 市町村と連携し、県内の小中学校等において、地域の水環境の保全や生活排水対策の必要性等について環境学習出前講座を実施する。
- ④ 市町村と連携し、浄化槽設置予定者等に対する浄化槽講習会の開催を検討する。

【結果報告】

- ① 県浄化槽推進市町村協議会と共同で、「浄化槽関係書類保存用ファイル」及び「浄化槽のしおり」を作成し、市町村を通じて浄化槽の新規設置者に配布した。
- ② 小中学校の環境学習出前講座については、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から積極的に希望を募ることはしなかったが、要望があった3小学校で実施した。

学校名	実施日
南さつま市立 万世小学校	12月8日
いちき串木野市立 生福小学校	2月9日
霧島市立 国分小学校	2月12日

4) 浄化槽に関する情報の発信

- ① 会報誌「浄化槽かごしま」を定期的に発行し、浄化槽関係業者、市町村、関係機関等に浄化槽に関する最新の情報を提供する。
- ② ホームページを充実し、浄化槽に関する各種情報を県民等に提供するとともに、浄化槽の正しい使い方や各種手続き等について広報する。

【結果報告】

- ① 「浄化槽かごしま」を県浄化槽推進市町村協議会と共同で3回発行し、会員、市町村、関係機関等に、協会の活動状況や浄化槽に関する最新の情報を提供した。
 第82号 令和2年6月発行「協会の令和元年度事業報告」など
 第83号 令和2年11月発行「要望活動」「表彰関係」など
 第84号 令和3年3月発行「浄化槽関係予算案」「浄化槽改善事例」など
- ② ホームページを随時更新し、浄化槽に関する最新の情報を行政や県民、会員等に提供するとともに、浄化槽の正しい使い方や各種手続き等について広報した。

5) 浄化槽に関する課題等の解決対応

- ① 県民や浄化槽関係業者、市町村等行政からの浄化槽に関する質問や技術的相談に随時対応するとともに、浄化槽工事や維持管理に対する苦情の処理と改善・再発防止策の提示等を行い、浄化槽に対する信頼性の向上に努める。
- ② 浄化槽の課題等について調査・協議し、浄化槽の適正化の推進を図り、信頼性の向上に努める。

【結果報告】

- ① 人員算定や浄化槽工事等に関する各種相談・問い合わせ等に対し、技術的な助言や説明を行った。

相談者 相談内容	業 界 関 係 者	行 政 関 係 者	一 般 住 民 其 他	合 計
処理対象人員算定に関する事	48	8		56
浄化槽工事等に関する事	20			20
手続き等に関する事	6	2	2	10
その他	3	1		4
合 計	77	11	2	90

- ② 鹿児島県における浄化槽の喫緊の課題を整理し、今後実施する事業について協議するため、総務企画委員を中心に構成する「調査研究部会」を設置した。

第1回部会で「モアコンパクト型浄化槽の普及による課題」と「鹿児島県の生活排水対策の現状と維持管理費用等の課題」について、現状と課題を共有し、今後課題の解決に向けて検討していくこととなった。

6) 大規模災害に対する浄化槽の点検・復旧等に関する支援

本県において大規模災害が発生した場合に、県との災害時支援協定に基づき、被災浄化槽の早期復旧を支援する。

7) 省エネ型浄化槽システム導入推進事業の推進

環境省が平成29年度に創設した「省エネ型浄化槽システム導入推進事業」の国庫補助制度や事業の効果等について、浄化槽設置者への周知を図り事業の推進に努める。

【結果報告】

補助対象の浄化槽管理者へ周知を行うとともに、申請手続きや書類作成等について助言し、事業の推進に努めた。

令和2年度実績

		全 国	鹿児島県
事業件数	タイプ1	418件	13件
	タイプ2	54件	1件
補助金額	タイプ1	520,958(千円)	9,956(千円)
	タイプ2	801,183(千円)	7,245(千円)
合計	事業件数	472件	14件
	補助金額	1,322,141(千円)	17,201(千円)

タイプ1 : 51人槽以上の既設合併処理浄化槽について、エネルギー起源二酸化炭素の排出を抑制できる、各種機械設備を最新型機器(高効率ブロワ等)へと改修する、もしくはインバーター制御装置等を導入する事業。

補助額は、補助対象事業費の2分の1

タイプ2 : 新・旧構造基準型または平成12年より販売された初期モデルの性能評価型の合併処理浄化槽(60人槽以上、ブロワを使用するものに限る)について、構造の刷新やコンパクト化、最新の省エネ技術導入によって高い省エネルギー効果が見込まれるような浄化槽本体の交換事業。

補助額は、工事に要する経費の2分の1

3 浄化槽機能保証事業（公益目的事業3）

浄化槽に機能異常が発生した場合に原因者を明らかにして、当該原因者による補修等の措置を確保するとともに、原因者が明らかにできない場合等には、設置者に負担をかけずに浄化槽の補修等の措置を確保するため、一般社団法人全国浄化槽団体連合会で制度化されている「浄化槽機能保証制度」を推進し、浄化槽に対する県民の信頼と安心・安全の確保を図る。

【結果報告】

令和2年度の登録基数は3,066基（対前年度152基減）となった。

令和2年度は機能保証制度による保証申し立てはなかった。

4 主要な会議等

(1) 理事会

令和2年 4月17日	第1回	(1) 評議員会招集の件
令和2年 5月 1日	第2回	(1) 副理事長及び代表理事選定の件
令和2年 5月29日	第3回 定時	(1) 令和元年度事業報告・計算書類等承認の件 (2) 令和2年度定時評議員会招集の件 【報告事項】 ① 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について ② 会員総会の開催について ③ 会員の状況について 【その他】 ① 県及び県選出国會議員への要望事項について
令和2年 7月10日	第4回	(1) 評議員会招集の件
令和2年 9月 4日	第5回	(1) 評議員会招集の件
令和2年11月25日	第6回	【報告事項】 ① 令和2年度事業の中間報告について
令和3年 3月26日	第7回	(1) 令和3年度事業計画・収支予算（案）承認の件 (2) 法改正等に伴う公益財団法人鹿児島県環境保全協会規程制定の件

(2) 評議員会

令和2年 4月24日	第1回	(1) 理事選任の件 (2) 評議員選任の件
令和2年 6月19日	第2回 定時	(1) 令和元年度事業報告・計算書類等承認の件 【報告事項】 ① 令和2年度事業計画・収支予算について ② 会員総会の開催について ③ 会員の状況について
令和2年 7月17日	第3回	(1) 理事選任の件
令和2年 9月11日	第4回	(1) 理事選任の件 (2) 評議員選任の件

(3) 監事監査

令和2年 5月19日	令和元年度事業報告・計算書類等の件
------------	-------------------

(4) 代議員会

令和2年 7月30日	第1回	(1) 代議員長、副代議員長の選出について (2) 新入会員の承認について 【報告事項】 ① 令和元年度事業報告及び収支決算について 【その他】 ① 機能保証制度の状況について ② 循環型し尿排水処理施設（無放流）について ③ 浄化槽の課題調査研究部会について ④ 県保守点検業者登録条例改正に伴う管理士研修について ⑤ 循環型社会形成交付金の災害時による被災浄化槽の復旧に関する助成制度について ⑥ 県・県選出国會議員への要望について
令和2年 8月17日	第2回	(1) 委員会の設置及び運営規程の一部改正について
令和2年11月25日	第3回	(1) 新入会員の承認について (2) 入会金の取り扱いについて
令和3年 3月16日	第4回	(1) 令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 【その他】 ① 令和3年度会員総会の開催予定について ② 令和3年度会員総会における理事長表彰候補者の推薦について ③ 令和3年度 環境省浄化槽推進関係予算（案）の概要について ④ 現在の会員の状況について

(5) 各委員会等

令和2年 5月29日	第1回	総務企画委員会 (1) 令和2年度理事長表彰者の決定について (2) 令和2年度会員総会について 【その他】 ① 全浄連委員会委員の推薦について ② 浄化槽の喫緊の課題について
令和2年 8月 4日	第1回	製造委員会 (1) 省エネ型浄化槽システム導入推進事業について 【その他】 ① 型式ごとの検査結果解析について

令和2年 8月19日	第1回	<p>管理委員会</p> <p>(1) 副委員長の選定について</p> <p>【その他】</p> <p>① 浄化槽維持管理技術研修会について</p> <p>② 浄化槽保守点検業の登録に係る浄化槽管理士研修会について</p> <p>③ 本県での浄化槽管理士講習の開催について</p> <p>④ 単独処理浄化槽設置家庭へのリーフレット配布について</p>
令和2年 8月26日	第1回	<p>工事委員会</p> <p>(1) 副委員長の選定について</p> <p>【報告事項】</p> <p>① 浄化槽の課題調査研究部会の設置について</p>
令和2年10月14日	第2回	<p>総務企画委員会</p> <p>(1) 副委員長の選定について</p> <p>(2) 入会金の取り扱いについて</p> <p>(3) 県・県選出国會議員への要望について</p> <p>(4) 浄化槽の課題調査研究部会の設置要綱について</p> <p>【その他】</p> <p>① 浄化槽の課題調査研究部会の委員（案）について</p> <p>② 令和2年度合同報告会、講演会及び意見交換会の開催について</p>
令和2年10月14日	第1回	<p>浄化槽の課題調査研究部会</p> <p>(1) モアコンパクト型浄化槽の普及について</p> <p>(2) 鹿児島県の生活排水対策の現状と課題について</p> <p>(3) 今後のスケジュールについて</p> <p>(4) その他</p>
令和2年11月17日	第6回	<p>浄化槽適正管理システム調査研究部会</p> <p>(1) 効率化検査における採水員委託の導入について</p>
令和3年 2月 4日	第3回	<p>総務企画委員会</p> <p>(1) 環境大臣表彰、環境再生・資源循環局長表彰、知事表彰、全浄連会長表彰候補者について</p> <p>【その他】</p> <p>① 令和3年度浄化槽整備に関する県・国への要望について</p> <p>② 令和3年度 国の浄化槽推進関係予算(案)の概要について</p> <p>③ 協会ホームページへの会員名簿掲載について</p>

令和3年 2月18日	第2回	管理委員会 (1) 令和3・4年度管理賦課金について 【その他】 ① 各種研修会の開催予定について ② 採水員検査に従事する嘱託職員の募集開始について ③ 浄化槽の保守点検回数について（県生活排水対策室）
------------	-----	---

(6) 会員総会（中止）

令和2年 7月30日	中止（総会資料送付）
------------	------------

(7) 機能保証委員会（開催なし）

(8) 浄化槽効率化検査精度管理委員会

令和2年 5月19日	第1回	(1) 効率化検査の進捗状況について (2) 不適正浄化槽等に対する改善状況について (3) 浄化槽情報共有システムの運用について
------------	-----	---

(9) 支部総会

令和2年 4月23日	日置支部総会
令和2年 4月28日	祁答院支部総会
令和2年 5月15日	始良支部総会
令和2年 5月25日	肝属支部総会
令和2年 5月26日	指宿支部総会
書面開催	鹿児島市支部総会
	南薩支部総会
	川薩支部総会
	出水支部総会
	伊佐支部総会
	隼人支部総会
	曾於支部総会
	種子島支部総会
	屋久島支部総会
	奄美支部総会
徳之島支部総会	

(10) 全浄連・指定検査機関関係

令和2年 4月24日	全浄連第30回理事会 (テレビ会議：栗脇副理事長、牧事務局長) (1) 委員会・専門部会の改革について (2) 役員等の推薦方依頼について
令和2年 4月28日	全浄連事務局長会議 (テレビ会議：牧事務局長) (1) 令和2年度省エネ事業について (2) 浄化槽管理士講習の運営について (3) その他
令和2年 5月22日	全浄連第31回理事会 (テレビ会議：栗脇副理事長、牧事務局長) (1) 2019年度事業報告(案)について (2) 2019年度収支決算(案)について (3) 2019年度公益目的支出計画実施報告書(案)について (4) 2020年度全浄連スローガン(案)について (5) 第8回定時総会決議(案)について (6) 定時総会の開催方法について (7) 「第8回定時総会の日時・場所・目的たる事項」について (8) 定款・諸規程改正(案)について
令和2年 6月10日	全浄連九州地区協議会総会 九州地区指定検査機関協議会総会 (テレビ会議：栗脇副理事長、牧事務局長) (1) 令和元年度事業報告について (2) 令和元年度収支決算報告について (3) 令和2年度事業計画(案)について (4) 令和2年度収支予算(案)について (5) 役員改選について
令和2年 6月26日	全浄連第32回理事会 (テレビ会議：栗脇副理事長、牧事務局長) (1) 会長・副会長・専務理事の選定について (2) 評議員、顧問の推薦
令和2年 6月26日	全浄連第8回定時総会 (1) 2019年度事業報告・収支決算承認 (2) 2020年度事業計画・収支予算承認
令和2年 9月11日	全浄連九州地区協議会総会事務局長会議 九州地区指定検査機関協議会事務局長会議

	<p>(テレビ会議：牧事務局長、右田総務部長、木佐貫検査部長、川上総務課長)</p> <p>(1) 激甚災害が発生したときの対応について</p> <p>(2) 協議会の設置状況及び運営等について</p> <p>(3) 台帳システムの進捗の状況、各県協会の関わり等について</p> <p>(4) パートタイム・有期雇用労働法に備えての規程改定等の対応について</p> <p>(5) 浄化槽台帳整備に係る情報収集及び行政からの委託について</p> <p>(6) その他</p>
令和2年9月24日	<p>全浄連第33回理事会</p> <p>(書面表決：栗脇副理事長)</p> <p>(1) 評議員1名の推薦について</p> <p>(2) 「臨時総会」の招集について</p>
令和2年10月16日	<p>全浄連臨時総会</p> <p>(書面表決：栗脇副理事長)</p> <p>(1) 理事1名の補欠選任について</p>
令和2年11月20日	<p>全浄連九州地区協議会役員会</p> <p>(栗脇副理事長、牧事務局長)</p> <p>(1) 全浄連各委員会での議論等について</p> <p>(2) その他</p> <p>【報告事項】</p> <p>① 臨時事務局長会議の開催予定について</p>
令和3年2月10日	<p>全浄連九州地区協議会・九州地区浄化槽指定検査機関協議会臨時合同事務局長会議</p> <p>(テレビ会議：牧事務局長、右田総務部長)</p> <p>(1) 職員の諸手当等について</p> <p>(2) 検査員の就業時間等について</p> <p>(3) 浄化槽台帳の進捗状況について</p> <p>(4) 環境省による浄化槽指導普及に関する調査の不適合率について</p> <p>【その他】</p> <p>① 給与規程の提供について</p> <p>② 職員募集について</p> <p>③ 新電力の利用について</p> <p>④ 浄化槽管理士研修会等について</p> <p>【報告事項】</p> <p>① 「省エネ型浄化槽システム導入推進事業」について</p>

令和3年 2月18日	全浄連第34回理事会 (書面表決：栗脇副理事長) (1) 臨時総会の招集について
令和3年 3月 4日	全浄連臨時総会 (書面表決：栗脇副理事長) (1) 理事1名の補欠選任について
令和3年 3月23日	全浄連第35回理事会 (テレビ会議：栗脇副理事長、牧事務局長) (1) 2020年度補正予算案について (2) 2021年度事業計画案について (3) 2021年度予算案について (4) 2021年度全浄連スローガン案について (5) その他 【報告事項】 ① 第35回「浄化槽の日」標語募集要領と広報活動の強化について

(11) 講習会・研修会の開催

① 浄化槽設備士試験準備講習会

令和2年 6月17日 ～19日	・会員、会員外問わず、浄化槽の設備士（国家試験）の受験者を支援するための準備講習会 (受講者：23名)
--------------------	--

② 浄化槽維持管理技術研修会

令和2年 9月 7日	・会員の浄化槽管理士を対象に維持管理技術の向上を目的とした研修会（中止：後日資料集を配布） (1) 鹿児島県の浄化槽行政等について (2) KRS型の保守点検・清掃・施工について (3) XH型の維持管理のポイントについて (4) 浄化槽の不具合改善に向けた対処法の提案について
------------	---

③ 保守点検業の登録更新に係る浄化槽管理士研修会

令和2年10月27日 令和2年10月28日	・浄化槽法の改正に伴い、保守点検業に登録する浄化槽管理士に登録期間内に1回以上の受講が義務付けられた研修会 (受講者：247名)
--------------------------	---

④ 浄化槽管理士講習

令和2年11月16日 ～2年11月28日	・日本環境整備教育センターが主催するもので、浄化槽の保守点検に関して必要な知識及び技能に関する講習を13日間受講し、浄化槽管理士の資格が取得できる講習会 (受講者：66名)
-------------------------	---

⑤ 支部研修会

日 程	支部	参加者
令和2年10月1日	奄美支部	17人
令和2年11月24日	日置支部	32人

⑥ 保守点検業者毎に保守点検作業についての浄化槽維持管理技術研修会

日 程	保守点検業者等	参加管理士
令和2年11月6日	あさくま浄化槽メンテナンス	10人
令和3年3月22日	大竜産業	4人

(12) 職員研修会

令和2年4月1日	研修資料の配布により開催
令和2年8月12日	Web会議にて開催
令和2年12月28日	Web会議にて開催

(参考)

(1) 鹿児島県浄化槽推進市町村協議会関係

令和2年 4月10日	第1回運営委員会 (1) 委員長選任について
令和2年 6月 4日	会計及び業務監査(錦江町長) (右田総務部長)
令和2年 6月 5日	会計及び業務監査(南さつま市長) (右田総務部長)
令和2年 7月 1日	第2回運営委員会 (1) 令和2年度通常総会に付議する議案について (2) 令和3年度の予算確保等に関する県・国への要望事項について
令和2年 7月10日	第1回理事会 (1) 令和2年度通常総会に提出する議案について
令和2年 7月27日	通常総会 (1) 令和元年度事業報告及び収支決算について (2) 令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について (3) 理事の欠員に伴う補充選任について
令和2年 8月 7日	第2回理事会 (1) 常任理事の選出について
令和2年 9月 9日	浄化槽行政職員研修会(53名) (1) 浄化槽の基礎知識について (2) 法定検査について (3) 鹿児島県の浄化槽行政等について (4) 循環型し尿排水処理施設(無放流)について (5) 省エネ型浄化槽システム導入推進事業について
令和3年 2月 9日	第3回運営委員会 (1) 令和3年度市町村負担金に係る調整率の決定について

5 事業報告書の付属明細書について

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。